

令和5年度三木市立図書館協議会（第1回）会議録

1 開催日程

- (1) 開 会 令和5年7月4日（火）午後1時30分
(2) 閉 会 令和5年7月4日（火）午後2時30分

2 場 所 三木市立中央図書館 1階 視聴覚室

3 議事日程

- 第 1 委嘱状の交付について
第 2 出席者の紹介について
第 3 会長及び会長職務代行者の選出について
第 4 報告事項 令和4年度図書館事業実績について
第 5 協議事項 令和5年度図書館事業について
第 6 協議事項 図書館利用者アンケートの実施について
第 7 協議事項 その他

4 出席者

会 長	西 中	記 美 代
会 長 職 務 代 行	藤 原	美 佐 子
委 員	高 森	伸 彦
委 員	上 村	和 美
委 員	香 月	尚 美
委 員	井 上	博 子
委 員	平 野	照 子

5 欠席者 なし

6 事務局出席者

図 書 館 長	伊 藤	真 紀
中 央 図 書 館 主 査	大 西	恵 美
青 山 図 書 館 司 書	辻 本	美 保
吉 川 図 書 館 司 書	佐 伯	あ ゆ み

7 傍聴者 なし

開 会

館長は、令和5年度第1回三木市立図書館協議会の開会を宣言した。

日程第1 委嘱状の交付について

館長は、三木市立図書館条例第5条第3項の規定により、図書館協議会委員に委嘱状を代理交付した。

日程第2 出席者の紹介について

委員、事務局職員の順で自己紹介した。

日程第3 会長及び会長職務代行者の選出について

三木市立図書館協議会規則第3条の規定により、互選で会長に西中記美代委員、会長職務代行に藤原美佐子委員を選出した。

日程第4 報告事項 令和4年度図書館事業実績について

○事務局は、新規登録者数、個人貸出冊数、予約・リクエスト数及び図書在所蔵冊数の推移について、資料1のとおり説明した。

(委員) 子どもたちの利用が減った要因は何かあるか。

(事務局) 新型コロナウイルス感染症の影響は、とても大きな要因だと考える。

日程第5 協議事項 令和5年度図書館事業について

○事務局は、令和5年度の図書館重点施策とその他業務内容について、令和5年度年間事業計画(案)について、資料2と資料3のとおり説明した。

(委員) 地域の高校生や大学生は、読書活動に関するボランティアを何

かしているか。

(事務局)今年度初めての取り組みとして、7月30日に中央図書館で、市内4高校による「高校生のおはなし会」を開催する。主催は「NPO法人This is MIKI」で、市内の高校生の希望者を募り、自分たちが読みたい絵本を選んで図書館で読み聞かせをする。令和4年度には青山図書館で、三木北高校の生徒と連携し、「本のおたのしみ袋」を10周年記念として実施した。これは、毎年お正月に実施しているイベントで、開催10回目を迎えるということで、初めて三木北高校の生徒にも参加してもらい、袋の中に入れる本を選定し、お楽しみ袋を作っていた。

吉川図書館では、吉川高校の生徒が授業の一環で本や映画のPOPを制作し文化祭で展示したのち、図書館でもPOPで紹介された作品の関連図書を集めて、POPと一緒に展示している。

(委員)地域の若い世代と図書館のつながりが広がっていけば、若い層の読書離れが少しは改善していくかもしれない。中学生も読書活動に活用してもらえたらと思う。

(事務局)例えば毎年11月に「図書館ともの会・三木」が主催で実施している「ビブリオバトル」のバトラーは中学生以上が対象なので、ぜひ応募いただきたい。

(委員)昨年度、青山図書館で実施された「本のおたのしみ袋」を借り、三木北高校の生徒が選んでくれた本を実際に読ませてもらった。今年度も、高校生が関わるような取り組みが何かあれば良いと思っていたところ、広報みきで「高校生のおはなし会」があることを知り、新たな取り組みに期待している。さまざまな世代が関わっていけば、素晴らしい事業になるのではないかと楽しみにしている。

(委員)今年度から新たに始まった、小学校向けの図書の団体貸出「わくわくとしょかんボックス」を本小学校の全クラスに貸出してもらった。子どもたちにとって「読んだよシール」を貼ることはとても魅力的なことで、大変人気がある。普段、学級文庫の本はなかなか選べないような児童も、「わくわくとしょかんボックス」の前に行

き、本を選んで嬉しそうにシールを貼っていく。学校の図書室や学級文庫の本には限りがあり、さまざまな本に出合っていくという意味でも良い取り組みだと感じている。しかも、学校の教諭も忙しくなかなか選書できないところを、きちんと学年に沿った選書をしてくれるのが、本当にありがたい。

小中一貫教育実践推進の取り組みの一環として、中学校1年生が小学校で読み聞かせをしてくれることも、子どもたちはとても楽しみにしている。また、地域の方も20年以上前から継続的に読み聞かせをしてきている。1小学校1中学校で上がっていき、本を読んでもらう喜びをずっと味わい、成長していく子どもたちの体験は、脈々と子どもたちの心に残っていくことを改めて感じている。

(委員) 本中学校でも3年前から、朝の10分間全校一斉読み聞かせをしている。生徒が放送を使用し、ローテーションで本を読んでいき、全校生は印刷されたプリントを目で追い、耳で聞くという取り組みをしている。読書が一種の習慣となり、心地よい読み聞かせの声を耳で聞き、文字を目で追い、頭で理解するという活動を定期的にしていくと、正しい文の読み取り方や人がしゃべる言葉の意味を少し理解しやすくなっている。読み聞かせというのは、目や耳、さまざまな器官を使うので良いということが、3年かけて少し分かってきた。

日程第6 協議事項 図書館利用者アンケートの実施について

○事務局は、図書館利用者アンケートの実施について、資料4のとおり説明した。

(委員) アンケートの対象者は図書館を利用される方だけか。

(事務局) 今回は図書館利用者を対象としており、実施期間は令和5年10月1日から22日まで、実施対象は中学生以上としている。

(委員) 来館された方に渡すのか。

(事務局) はい。

(委員) Q 1-3 お住いの地区にある「三木」は、どの意味か。

(事務局) 自治会の地区ごとに分けており、「三木地区」を意味している。

(委員) どこの図書館でも一斉に実施するのか。

(事務局) そのとおりである。

(委員) Q 5 図書館のサービスについて「施設や設備の満足度」や「資料の探しやすさ」や「資料の充実度」などの問いがあり、図書館によって違いがあると思うので「主に利用する図書館」の項目を入れてはどうか。

(事務局) 図書館ごとの状況が分かるので、項目の追加を検討する。

(委員) 来館による貸出以外にも、利用する方法はあったと思うがどうか。

(事務局) 図書館定期宅配サービスはあるが、障がいや高齢等の理由で1人では公共交通機関などを利用して図書館に来館できない方に対してのサービスとして行っている。

(委員) 基本的に本を借りようと思えば、足を運ばないと借りられないという状況か。

(事務局) はい。

(委員) このアンケートは今回限りか。

(事務局) 1回限りではなく、定期的に実施し比較していければ、サービス向上のための良い資料になるので、継続したいと考えている。

(委員) アンケートを取るということは、利用者のニーズに応えようとしていることなので、運営に対する丁寧な姿勢がうかがえる。結果

を考察していただきたい。

日程第7 協議事項 その他 なし

閉 会

会長が、令和5年度第1回三木市立図書館協議会の閉会を宣言した。